

## カリキュラムマップ

	▶ 1年次 (第1・2セメスター)	▶ 2年次 (第3・4セメスター)	▶ 3年次 (第5・6セメスター)	▶ 4年次 (第7・8セメスター)
<b>学びの深まり</b> 日本について理解するための幅広い学びを基礎に、本当に探求したいテーマを見つけます。	大学で学ぶ意義を自覚する PCや日本語表現の技能を習得する 国際文化交流に必要な語学力を習得する 日本文化を学ぶための基礎的な技能・知識を習得する	日本文化とは何かを理解するための基礎知識を学ぶ	日本文化についての学識を深め、テーマを決めて研究を進める	卒業論文・卒業研究
<b>日本文学専攻</b> 1・2年次には異なる教員の指導のもとで学び、3年次(第5セメスター)以降は選択したコースに分かれ、3・4年次とも同じ教員の専門演習を履修し、卒業論文・卒業研究をまとめます。	● 日本文化基礎演習Ⅰ・Ⅱ	● 日本文化基礎演習Ⅲ(・Ⅳ)	● 日本文化演習Ⅰ・Ⅱ	● 日本文化演習Ⅲ・Ⅳ
<b>共通科目</b> (→ P.33) 諸学問の基礎を学び、幅広い教養を身につけるとともに、様々な分野の専門家・実務者による講義や指導を受けることができます。	● 外国語科目1群 (英語) ● 情報リテラシー ● 表計算ツールとデータ分析 ● 日本語表現法 ● 外国語科目2群 (英語以外の外国語)	● 外国語科目1群 (英語)	● 比較文化研究科目群	● 卒業論文・卒業研究
	● 民俗・歴史系科目群 ● 文学・芸術・思想系科目群 ● 現代社会系科目群	● 民俗・歴史コース ● 日本語・日本文学コース ● 芸術文化・アートマネジメントコース ● 現代文化コース		
	● 特別総合科目群 ● 国際文化交流論科目群 ● 共通基礎科目群 ● 人間・環境系科目群 ● スポーツ・健康科学演習科目群 ● 伝統文化演習科目群 ● 国際文化交流演習科目群 ● 生活文化演習科目群 ● 社会演習科目群 ● 多文化学際科目群			

【※】3年生(第5セメスター)から4つのコースに分かれます。登録するコースごとに定められた専門科目の中から13科目以上を選択して履修します。

### 他学科専門科目

日本文学専攻の専門科目以外にも、一人ひとりの興味・関心に合わせて、他学科の専門科目の履修が可能です。

### f-Campus 提供科目 (5大学単位互換制度) → P.36

学習院女子大学の授業に加え、学習院大学、日本女子大学、立教大学、早稲田大学が提供する科目も履修することができます。

### カリキュラムの詳細は本学ウェブサイトを確認してください。

[https://www.gwc.gakushuin.ac.jp/faculty/g\\_japanese/curriculum.html](https://www.gwc.gakushuin.ac.jp/faculty/g_japanese/curriculum.html)



## ピックアップ科目



比較文化論(社会)

「江戸文化」は、庶民文化のルーツとして、注目されてきました。この講義では、江戸っ子および後代の人々によって語られた「江戸文化」と江戸の実際を比較していきます。



日本語学Ⅲ

この授業は、日常生活の中で見聞きすることばの諸事象と、最新の言語学、日本語学の研究成果を有機的に結びつけます。漫画に出てくるお嬢様ことばと、本学の前身である華族女学校の意外な関係などが見えてきます。



比較文化Ⅵ(嗜好)

我が家の味のルーツを探る。自分達が食べている雑煮の味が母方か父方か、どこの地方の味か、どのような出汁をベースとしているか。我が家の味のルーツを自覚し、自分の五感を磨き、自己肯定感を確立する授業です。

## ゼミナール



日本文化演習 [工藤ゼミ]

### 考古資料から日本の先史・古代を学ぶ

過去の生活や文化を遺跡出土資料から研究するのが考古学です。遺跡などのフィールド調査や博物館見学なども行いながら、日本文化のルーツを紐解いていきます。



日本文化演習 [橋本ゼミ]

### 多面的にスポーツを捉える目を養う

「スポーツ」や「健康」をとりまく現象・現代的問題について、文献調査やインタビュー調査を通して、文化的側面からそれらを読み解き、分析する力を培います。

### ▶ 卒業論文・卒業研究題目のテーマ例 (2022年度)

- 上村松園筆『焰』研究—女性の内に秘めた懊悩の描出—
- 先史・古代の酒造の可能性と酒の存在意義について
- 大正期における内職の実態
- 女性のキャリア形成と企業の両立支援制度
- 「宴遊日記」から見る柳沢信鴻の六義園暮らしと園芸文化
- 学校給食からみる魚食の現状—魚食文化の存続・発展に向けて—
- 上毛かるたの歴史と現在—KING OF JMKの取り組みを例に—
- あんこの嗜好性—女子大学生のあんこ離れについて—
- LINEにおける方言・話体の選択とその背景—話者の属性と人間関係に注目して—
- 受験競争の変遷および受験競争に関する実証研究の展望—日本の受験地獄時代と大学全入時代に焦点を当てて—

## 専任教員紹介



伊藤 守幸  
教授  
平安文学研究、比較日本文学研究



今橋 理子  
教授  
日本美術史(江戸絵画史)、比較日本文化論



岩淵 令治  
教授  
日本近世史(江戸時代)、日本都市史



澤田 匡人  
教授  
感情心理学



品川 明  
教授  
フードコンシャスネス教育、環境教育、食品科学、生態学、コミュニケーション



清水 将吾  
准教授  
情報科学、データ科学



内野 儀  
教授  
表象文化論、舞台芸術(演劇・舞踊)論



宇都宮 由佳  
教授  
食文化、生活文化



木村 直恵  
教授  
日本近代史、文化史



清水 敏男  
教授  
現代美術史、アートマネジメント(博物館学)



土屋 有里子  
教授  
日本中世文学、説話文学、キリシタン文学



時安 邦治  
教授  
社会学・社会思想



工藤 雄一郎  
准教授  
先史学、植物考古学、環境考古学、年代学、漆文化史



越塚 美加  
教授  
図書館情報学



佐藤 琢三  
教授  
日本語学(現代語の意味論・文法論)



橋本 彩  
准教授  
スポーツ人類学、文化人類学



福島 直恭  
教授  
日本語学、日本語史



福島 雅子  
准教授  
日本服飾史、染織史

### 教員著書紹介



『沙石集』の世界  
土屋 有里子 教授 著  
2022年10月 あるむ

鎌倉時代、尾張国長母寺の無住道暁によって編纂された『沙石集』は、多くの人々に読み継がれてきた。現代の我々にも多くを問いかける『沙石集』について、専門的ながらも平易な文章で全貌に触れた初の一般書。